

第5回和泉デイサービスセンター運営推進会議 会議録

事業所名	和泉デイサービスセンター わくわく館
開催日時	平成 30 年 10 月 18 日 (木) 14 時 00 分～15 時 00 分
開催場所	和泉デイサービスセンター 相談室
参加者	利用者家族 2 名 和泉民生委員児童委員協議会民生委員 1 名 老人クラブ和泉会副会長 1 名 介護支援専門員 1 名 大野市社会福祉協議会事務局 2 名 事業所職員 2 名
議題	① 運営状況について ② 利用者の状況について ③ デイサービスの状況について ④ 転倒などの事故について ⑤ 苦情、要望などについて ⑥ 非常災害時の対応について ⑦ その他
会議録	
<p>【運営状況について】</p> <p>收支…平成 30 年前期は平成 29 年前期に比べ、収支差額が -1,150,000 円ほどになりました。収入が減った理由として前年に比べて毎日利用する利用者の方が減ったこと、ショートステイ利用の方が増えたことが考えられます。支出が増えた理由としては、施設が建って 20 年が経ち、老朽化が進んだことによる修繕費がかかったことが考えられます。</p> <p>利用状況…平均介護度は 2.1 と前年に比べて徐々に上がってきています。利用人数も前年に比べて少なくなりました。これは一人暮らしをしていた方が入所してしまった方が多かったためだと考えられます。</p> <p>その他…和泉地域福祉センターの供用廃止に伴って、和泉デイサービスセンターも行政の手を離れて、社協の管理となりました。今後は今までかかっていなかった除雪や保険などのランニングコストがかかり、経営も厳しい状態が続いていくものと思わ</p>	

れます。

【デイサービスの状況について】

デイサービスの行事内容等に大きな変化はありませんでした。

【転倒などの事故について】

5/28 の入浴中に浴用車椅子に座りそこねて床に尻もちをつく事故がありました。怪我などなくその後も変わりなく利用され、帰宅されました。事故を未然に防ぐための話し合いを職員で行い、見守りを徹底して対応していきたいと考えています。

【苦情、要望等について】

30 年度前期の苦情はありませんでした。

【非常災害時の対応について】

施設では年に 2 回、避難訓練実施計画書を消防署へ提出し、1 回目は自主訓練として 7/29 に、2 回目は総合訓練として和泉地域福祉センター、和泉保育園との合同避難訓練を 9/20 に行いました。

その他に 7/29 に朝日板倉角野地区自主防災訓練へ参加しました。

【質疑応答】

- ・地域密着型のデイサービスとは何なのか？今までのデイサービスと何が違うのか？

→地域密着型は地域に開かれた施設運営を目的としており、例えば年 2 回の地域の方々を招いて行う運営推進会議を行う義務があります。これにより地域の方々にデイサービスの活動や運営などを知っていただく機会を持っています。その他に利用定員が 18 人以下であるといった条件などもあります。

- ・施設の老朽化が進んでいるとのことだが、直さないのか？

→全部一括で修繕するには大きな経費がかかるので、少しづつ直している。

- ・平均介護度が上がったとあるが、改善された（下がった）人はいるのか？

→1 人いるが、徐々に介護度が上がるか、横ばいを維持している人が多いです。

- ・デイサービスを利用するとなるとお金の負担はどれぐらいになるのか？

→要支援は定額制で月の利用金額が決まっています。要介護は利用日数によって金額が変わってきます。例えば要介護 2 で週 3 回の利用だと約 2 万円弱になります。

【その他】

- ・知り合いや近所のデイサービスを利用している人が楽しそうに行っている。今後も楽しめるようなデイサービスであってほしい。

- ・介護者より、デイサービスから疲れて帰ってくる。座ってばかりでは疲れるので、何か楽しめるようにしてほしい。

・旧地域福祉センターが無くなり、わくわく館に地域福祉センターにあった和泉支所の機能を移した。デイサービスだけでなく、地域福祉の会議などもこれからはわくわく館で行えるといいと考えている。